



縁起
ええねあ。

福よぶ てぬぐい展

一富士
二鷹
三茄子



2023年
9月30日(土) ~ 1月17日(水)
2024年

● 開催時間 / 午前10時 ~ 午後7時 (入館は午後6時30分まで) ● 休館日 / 会期中無休 ※臨時休館有、お問い合わせください。
● 主催 / 細辻伊兵衛美術館 ● 後援 / 京都市(公社)京都市観光協会・京都新聞



てぬぐいアーカイブ
細辻伊兵衛美術館

縁起
ええわあ。



福よぶ 手ぬぐい展

2023年 2024年
9月30日(土) ~ 1月17日(水)

開館時間：午前10時～午後7時
(入館は午後6時30分まで)

休館日：会期中無休 ※臨時休館する場合があります。

入館料：一般 1000円 手ぬぐいチケット付
中高大 900円 手ぬぐいチケット付
小学生 300円 手ぬぐいチケット無

主催：細辻伊兵衛美術館

後援：京都市・(公社)京都市観光協会
京都新聞



本展の主要なテーマは、「縁起」。

江戸時代から昭和初期の

手ぬぐいコレクションの中から、

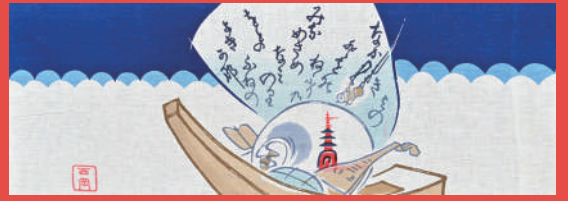
2024年に向けて皆様にたくさんの福が

訪れますよう、縁起の良い絵が描かれた

手ぬぐいを集めました。



京都市営地下鉄「烏丸御池」駅 4-1 出口から徒歩3分
駐車場はございません。
当館へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。



大正時代



福德の神様である七福神。正月二日に、宝物や七福神が乗った帆掛け船の絵を枕の下に敷いて寝ると吉夢が見られるという風習からか、宝船の意匠の手ぬぐいもよく制作されました。



昭和11年(1936)

初夢で見ると縁起の良い「一富士二鷹三茄子」。鶴や松、日の出や獅子舞、神社参詣の様子など、今も昔も変わらない人気のお正月の意匠をご紹介します。



昭和10年(1935)



日本には、縁起にまつわるモチーフや紋様、形、数字、動物などが存在します。そうした縁起ものを描いた手ぬぐいは、日本人にとってお守りのようなものでした。



昭和13年(1938)

2024年の干支は「辰」。十二支の中で唯一、伝説上の生き物である龍の姿をしています。干支としてだけでなく、龍神として広く信仰されるほどの力を持つ龍は、縁起の良い意匠として古くから好まれてきました。



細辻伊兵衛美術館

細辻伊兵衛美術館

〒604-8174 京都市中京区室町通三条上ル役行者町368

TEL:075-256-0077

<https://hosotsuji-ihee-museum.com/>

Instagram [hosotsujihee_museum](https://www.instagram.com/hosotsujihee_museum)

Twitter [@h_ihee_museum](https://twitter.com/h_ihee_museum)

